

はじめに



アメリカは学術研究の分野において世界最先端を走っており、またビジネス分野でも世界を牽引しています。そのため、毎年何万人規模の日本人が、学生や研究者として留学しています。アメリカ留学はその人たちに多くの経験や技術を提供して、キャリアを構築するための重要なきっかけとなっています。

ビザ取得はアメリカに学生や研究者として留学する場合に必須です。ただ、このビザ取得の手続きはたいへんに煩雑で、多くの知識と準備を必要とします。そのため、アメリカに留学した人のほぼ全員が、このビザ取得で何らかの苦しい思いをした経験を持っています。このアメリカビザの取得に失敗して、留学を諦めざるを得なくなったりする人も実際に存在しますし、ビザシステムをしっかりと理解しなかったために、夢半ばで帰国を余儀なくされたり、不法滞在という嫌疑をかけられてトラブルにあうケースもあります。ビザ制度をよく理解して、必要な対処を的確にすることは、アメリカ留学を成功させるうえでの最重要課題です。

一般人がアメリカビザ制度を正しく理解することはとてもたいへんです。ビザ自体の種類は約 20 種類以上もあり、それぞれのビザ取得には別々の必須条件・準備書類・取得プロセスを要します。また、このビザシステムはダイナミックに時とともに変更されています。そのため、アメリカではこのビザなどの移民法を専門にしている弁護士が多数存在しているほどです。ビザの取得・更新にはたくさんの知識と作業が必要となります。

留学生は専門家ではありません。にもかかわらず、短い留学準備期間の中で、どのビザを取得すべきなのか、何の書類を準備する必要があるのかなど、多くのことを調べて対処する必要があります。ビジネスマンのアメリカ転職の場合には、多くの場合、会社が弁護士に相談して書類を用意するので、本人が面倒な手続きをする必要はありませんが、多くの学生や研究

者は、大金を出して弁護士を雇う余裕もありませんので、なんとか自分でネットや書籍などで調べて解決しようと思います。

では、このアメリカビザについて詳しく解説している日本人向けのサイトや、書籍などは充実しているのでしょうか？残念ながら、ほとんど存在してないのが現状です。見つかっても断片的な情報であったり、古い情報であったりして、本当に信頼していいのか心配になるものばかりです。そして、この現実留学は打ちひしがれることになります。英語で書かれているサイトはいくつか存在しているのですが、日本人向けの情報ではないし、何より難しい法律用語も散りばめた英語で書かれているため、留学前の人にとっては理解するのは容易ではありません。私自身の経験や、周りの留学中の日本人の話から考えると、情報収集にはとても苦労します。

そのような難しい状況があるため、留学生は実際はかなり困っており、それらを何とか打破できないかと私は考えていました。そこで最近、私が代表を務めている「アトランタ日本人研究者の会」と、本書のもう一人の監修者である野口弁護士が主催しているアメリカの法律情報をウェブで無料公開する組織である「Open Legal Community」が協力して、この問題を解説するための、アメリカビザに関するウェビナーを共同企画しました。講師には、移民法弁護士のなかでとても数が少ない日本人の一人である大藏先生をお招きして、2017年4月21日に公開ウェビナーを開催しました。この会は、多くの留学している研究者や大学院生、これから留学をしようとしている人からもたいへんに注目されまして、最終的に600名を超える参加者を集めて、2時間半にわたる熱のこもったセミナーを開催しました。

このセミナーの反響はとても大きく、やはり多くの留学生がビザの問題で困っていることを再認識しました。そこで、さらにこの問題を解決する方法はないかと考えまして、大藏先生と野口先生とともに、アメリカビザに関する書

籍を出版して、留学生のもとにしっかりとした形で情報を渡したいと思うに至りました。膨大なビザに関する情報のなかでも、本書はビザ新規取得にフォーカスして、これからアメリカ留学を準備している学生・研究者がスムーズに一人でビザ取得手続きができるように作られています。各手順の解説から巻末のQ&Aまで、留学生が抱くことが多いビザ取得に関する疑問点を網羅していますので、この本を読んでいただければ不安なくビザ取得を進めるのではないかと思います。

この書籍を利用する際に1点注意していただきたいことがあります。本書には出版時点での正確な情報を載せるよう努めてはいますが、ビザの法律は頻繁に変更がされています。ビザ申請の際には、ご自身で最新情報がどうなっているのかを、アメリカ政府のサイトなどで必ずご確認ください。この書籍ではその最新情報を確認するためのリンクも提供しています。また、大藏先生と野口先生はビザに関する最新情報を日本語で報告するサイト (<https://usvisastation.com/>) も公開しておりますので、そちらもご参考になさってください。

アメリカで新たな挑戦をしたいと思っている学生や研究者が、この書籍を手にするだけで、留学の最初の関門であるビザ申請を、安心してスムーズに乗り越えられるようになることを願っております。

2018年10月

エモリー大学ウィンシップ癌研究所

大須賀 覚



私をはじめアメリカに留学した2002年は、アメリカ同時多発テロ9・11が起きた翌年でした。テロが起きた9月には、学生ビザの手続き準備をすでにはじめていたのですが、ビザが貼られたパスポートが送られてくるまで、ビザが無事におりるか不安な日々を過ごしていました。

当時は、ビザ取得に関するまとまった情報を得るのは難しかったです、なんとか自分でビザが取得できました。しかし、その頃と学生ビザ取得の環境は大きく変わりました。政権交代の影響などで、学生ビザを新規取得することはより難しくなったと思います。

私は留学し航空宇宙工学を修めた後、法科大学に通い、現在は知財・特許に関する弁護士として働く傍ら、日本人のためにアメリカ法律情報を提供するサイトを運営しています。そんな時に、「アトランタ日本人研究者の会」の代表を務めている大須賀さんからビザに関するウェビナーと一緒にやらないかとオファーをいただきました。私は弁護士ですが、専門が違うため移民法が専門の大藏弁護士を講師に招き、ウェビナーと一緒に開きました。このウェビナーは大好評で、アメリカのビザ情報に関する大きなニーズを再認識しました。

このような実際の体験がきっかけで、この『研究者・留学生のためのアメリカビザ取得完全マニュアル』が生まれました。ウェビナーではカバーできなかった具体的な手続きの流れを含めて、まさに研究者・留学生が必要としているアメリカビザ情報がコンパクトにまとまったマニュアル本が完成しました。

大藏弁護士には研究者や留学生としてアメリカに来る際の、ビザ新規取得手続きを詳細に解説していただきました。また、留学経験のある大須賀さんや私が、アメリカのビザに関する知識がない人でも分かりやすいように、言葉などを噛み砕いた編集を加えました。まさに、研究や留学のため

にアメリカに来る際の、ビザ情報がこの1冊に簡潔にまとまっていますので、これからビザを新規取得し、アメリカに来たいと思っている一人一人にぜひ使っていただきたいと思っています。

ビザに関する取り決め（移民法）は常に変わっています。この本が出版されてからも、さまざまな制度が変更されていく可能性があります。我々は、それらの変更をフォローして報告するサイト (<https://usvisastation.com/>) を運営しています。この本とともに、サイトの情報も参考にしてもらい、間違いのないビザ申請手続きを進めてもらえればと思います。

この本を参考にしてもらい、多くの人のアメリカ留学が順風満帆にスタートすることを祈っています。

2018年10月
ジョージア州弁護士
野口剛史